

2012 年度コレクション展

コレクション名品選 「こんな人がいた！兵庫美術家列伝」

同時開催 小企画 「赤鉛筆のアウトサイダー ^{おばたまさお} 小幡正雄展」



横尾忠則《風景 No.15 オレンジ猫》1969 年

1 開催趣旨

兵庫県立美術館では、前身の兵庫県立近代美術館の時代より、40 年以上にわたって作品収集を行い、收藏された作品数は 8,000 点以上に及びます。当館 1 階と 2 階の展示室で開催される「コレクション展」では、年 3 回の展示替えを行いながら、コレクションの名品をさまざまなテーマに分けて紹介しています。

2012 年度コレクション展 では、「こんな人がいた！兵庫美術家列伝」と題し、地元ゆかりの美術家たちによるユニークな作品群をご紹介します。うち 1 室では、旧・兵庫県立近代美術館の西館に「横尾忠則現代美術館」が 11 月 3 日に開館するのにあわせ、西脇市出身の横尾氏の作品をまとめて展示します。

さらに小企画として「赤鉛筆のアウトサイダー 小幡正雄展」を開催します。

2 会期等

2012 年 11 月 17 日（土）～2013 年 2 月 24 日（日）

休館日：毎週月曜日・12 月 25 日（火）～1 月 1 日（火・祝）

ただし 12 月 24 日（月・振休）、1 月 14 日（月・祝）、2 月 11 日（月・祝）は開館、
1 月 15 日（火）、2 月 12 日（火）は休館

開館時間：午前 10 時～午後 6 時 特別展開催中の金・土曜日は夜間開館（午後 8 時まで）

入場は閉館の 30 分前まで

3 入場料

一般：500（400）300 円 / 大学生：400（320）240 円 /

高校生・65 歳以上：250（200）150 円 / 中学生以下：無料

（ ）・・・20 名以上の団体料金 / ……特別展とのセット料金

11 月 17 日（土）、18 日（日）は「関西文化の日」につき入場無料

4 会場 兵庫県立美術館 常設展示室（1 階・2 階）

5 主催 兵庫県立美術館

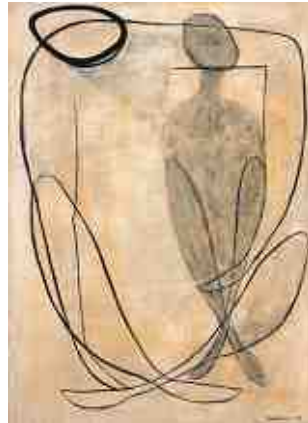
6 内容

「こんな人がいた！兵庫美術家列伝」【展示室1・2・3】 出品点数約80点

芸術家というと、何やら遠い存在のように思われるかもしれませんが、たとえば、ここ兵庫県で生まれ育ち、あるいは拠点を置いて活躍した美術作家は、実に沢山知られています。兵庫県立美術館のコレクションより、戦前から戦後にかけて活躍した地元ゆかりの作家たちによる、個性あふれる表現をご紹介します。

なお展示室2では、2012年11月3日、旧・兵庫県立近代美術館の西館に「横尾忠則現代美術館」が開館するのを記念し、西脇市出身の美術作家、横尾忠則氏による1960～70年代のポスター、版画、絵画作品を特集展示します。

[出品作家]小出楯重、横尾忠則、津高和一、白髪一雄、東山嘉事など



横尾忠則《風景 No.15 オレンジ猫》1969年
津高和一《母子像》1951年
白髪一雄《天空星急先鋒》1962年
小出楯重《裸婦》1930年
東山嘉事《地の群れA》1975年

小企画「赤鉛筆のアウトサイダー 小幡正雄展」【展示室4】 出品点数約80点

詳細は別紙のプレスリリースに記載いたしておりますので、ご参照ください。

近・現代の彫刻 ロダン、ブールデル、マイヨールとその後 / 安藤忠雄コーナー【展示室5】

出品点数約10点

当館の収集の柱のひとつである彫刻から、西洋近・現代の作品を展示します。また、当館の設計者である建築家・安藤忠雄の関西でのプロジェクトを模型、写真、映像などで紹介するコーナーを併設します。



オーギュスト・ロダン《オルフェウス》1892年

【小磯良平記念室・金山平三記念室】 出品点数約 35 点

神戸出身のふたりの洋画の巨匠を顕彰する記念室です。金山平三記念室では本年度春に開催した特別展「金山平三展」の補遺として“さまざまな写生地”をテーマに作品を展示します。

小磯良平記念室では、神戸市立小磯記念美術館等に巡回する「小磯良平展」への作品貸出のため、一部作品を展示替えします。

金山平三《雪晴れ》1917-34年



洋画と日本画の名作【展示室 6】 出品点数約 25 点

当館が所蔵する近代の洋画と日本画から、代表的な名作を展示します。

日本画については、会期中に以下の日程で展示替えを行います。

前期：11月17日（土）～2013年1月14日（月・祝）

後期：2013年1月16日（水）～2月24日（日）

本多錦吉郎《羽衣天女》1890年



7 関連事業

(1) 学芸員によるギャラリートーク

11月24日（土）〔展示室3〕、1月19日（土）〔小幡正雄展〕、2月16日（土）〔金山平三記念室〕
午後4時から（約30分）

*参加無料、要観覧券

(2) ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー

会期中の金・土・日曜の午後1時から（約45分）

*参加無料、内容により要観覧券

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

お問合せ先

兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 電話 078-262-0901（代）

ホームページ <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

【コレクション名品選 企画内容に関すること】 企画担当学芸員 江上 ゆか

【小企画 赤鉛筆のアウトサイダー - 小幡正雄展 企画内容に関すること】 企画担当学芸員 鈴木 慈子

TEL:078-262-0909(直) FAX:078-262-0913

【取材・写真提供に関すること】 営業・広報グループ

TEL:078-262-0905(直) FAX:078-262-0903

2012 年度コレクション展 小企画

おばたまさお
「赤鉛筆のアウトサイダー 小幡正雄展」



《無題〈家族〉》1990年代後半

1 趣旨

小幡正雄（おばた・まさお 1943-2010）は、1989 年から暮らした神戸の障害者支援施設で、絵画制作を始めました。不要になった段ボールをもらっては、それらを好きな大きさに切り、主として赤鉛筆を用いて独自の世界を描き出しました。主題の多くは「結婚式」ですが、乗り物や建物、楽器など、モチーフは多様です。

当館ではいち早く、1998 年の「アート・ナウ」で小幡を紹介しています。2000 年代に入り、国内のみならず、スイスやフランスで開かれた展覧会でも大きく取り上げられ、アール・ブリュット/アウトサイダー・アートの作家として、国内外で評価が高まっています。広く知られるようになっておよそ 10 年、2010 年に生涯を閉じた小幡の作品を、一堂に展示します。

出品点数 約 80 点

2 会期等（2012 年度コレクション展 と同時開催）

2012 年 11 月 17 日（土）～2013 年 2 月 24 日（日）

休館日：毎週月曜日・12 月 25 日（火）～1 月 1 日（火・祝）

ただし 12 月 24 日（月・振休）、1 月 14 日（月・祝）、2 月 11 日（月・祝）は開館、
1 月 15 日（火）、2 月 12 日（火）は休館

開館時間：午前 10 時～午後 6 時 特別展開催中の金・土曜日は夜間開館（午後 8 時まで）

入場は閉館の 30 分前まで

3 入場料

一般：500（400）300 円 / 大学生：400（320）240 円 /

高校生・65 歳以上：250（200）150 円 / 中学生以下：無料

（ ）・・・20 名以上の団体料金 / ……特別展とのセット料金

11 月 17 日（土）、18 日（日）は「関西文化の日」につき入場無料

- 4 会場 兵庫県立美術館 常設展示室 4
- 5 主催 兵庫県立美術館
- 6 協力 社会福祉法人 くすのき会 ひふみ園
株式会社シグロ
- 7 作家略歴



小幡正雄ポートレート
2006年7月24日 ひふみ園にて 撮影：服部正

- 1943 岡山県笠岡市真鍋島に生まれる。
- 1989 神戸市にある「ひふみ園」で暮らし始める。その後、絵画制作を行うようになる。
- 1997 第2回 KOBE 可能性の芸術（ギャラリーみうら、神戸市）
とっておきの芸術祭 in 船橋（西武百貨店船橋店）
- 1998 アート・ナウ '98 ほとばしる表現力「アウトサイダー・アート」の断面
（兵庫県立近代美術館）
- 1999 エイブル・アート '99 このアートで元気になる（東京都美術館）
小幡正雄個展（ギャラリーけやき、三田市）
エイブル・アート島根 '99 こころのさざ波展（島根県立美術館ギャラリー）
- 2000 よろこび・びっくりアート展 多様な表現との出会いを求めて（富岡市立美術博物館）
小幡正雄と東山カジ（ギャラリー・カフェ・ナフシャ、神戸市）
西脇市岡之山美術館アトリエシリーズ個展 アートシーンを探る（西脇市岡之山美術館）
- 2001 21世紀アートのエネルギーをみる（O美術館ほか）
魂の響き エイブル・アート英国展 Echos of the Spirit
（ディオラマ・アーツ・センター、ロンドンほか）
- 2002 第1回障がい者公募作品展 ハートでアートこうべ（入選、2005年も出品・入選）
- 2003 東山嘉事とひふみ園の画家たち（あしゅん、神戸市）
- 2005 アウトサイダー・アート展 描かずにはいられない表現者たち
（高浜市やきものの里かわら美術館）
- 2006 快走老人録 老ヒテマスマス過激ニナル（旧吉田邸、近江八幡市）
- 2008 アール・ブリュット / 交差する魂（北海道立旭川美術館ほか）
日本 Japan（アール・ブリュット・コレクション、スイス）
日本のアール・ブリュット（るんびにい美術館、花巻市）
- 2009 日本のアール・ブリュット Art Brut aus Japan（クンスト・ハウス・ウィーン）
丹波篠山・まちなみアートフェスティバル（白殻五粉、篠山市）

2010 神戸市にて逝去。享年 66 歳。

アール・ブリュット・ジャポネ Art Brut Japonais

(パリ市立アル・サン・ピエール美術館、のち 2011 年から 12 年にかけて日本国内巡回)

ハートでアートこうべ 2010 遺作展 小幡正雄の世界 (兵庫県立美術館ギャラリー)

2011 爆発する! 生の芸術 アール・ブリュット in FUKUOKA (福岡アジア美術館)

2012 リサイクルリサイタル 幸せ時間の共有 (鞆の津ミュージアム)

アール・ブリュット展 生の芸術 (浜松市美術館)

アール・ブリュット in NAGANO (伊那文化会館ほか)

日本のアール・ブリュット Art Brut from Japan (オランダほか欧州巡回)

8 関連事業

座談会「小幡さんを語る」

ゲスト 山崎美和 (ひふみ園) 服部正 (横尾忠則現代美術館)

2013 年 2 月 10 日 (日) 午後 2 時より 当館レクチャールームにて

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。

別紙の申込書をご使用ください。

お問合せ先

兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1 電話 078-262-0901 (代)

ホームページ <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

【企画内容に関すること】 企画担当学芸員 鈴木 慈子

TEL:078-262-0909 (直) FAX:078-262-0913

【取材・写真提供に関すること】 営業・広報グループ

TEL:078-262-0905 (直) FAX:078-262-0903

コレクション名品選 「こんな人がいた！兵庫美術家列伝」

おばたまさお

同時開催 小企画 「赤鉛筆のアウトサイダー 小幡正雄展」

営業・広報グループ 宛 FAX (078) 262-0903

ご希望の写真の番号に をつけてください。後日お送りいたします。また、読者・視聴者プレゼント用招待券(最大10組20名まで)もご用意しております。ご希望の場合は、ご請求ください。

番号	作家名・作品名・制作年・素材・その他(クレジット等)
1	小幡正雄《無題(家族)》1990年代後半
2	小幡正雄ポートレート 2006年7月24日 ひふみ園にて 撮影：服部正
3	横尾忠則《風景 No.15 オレンジ猫》1969年
4	津高和一《母子像》1951年
5	白髪一雄《天空星急先鋒》1962年
6	小出檜重《裸婦》1930年
7	東山嘉事《地の群れA》1975年
8	オーギュスト・ロダン《オルフェウス》1892年
9	金山平三《雪晴れ》1917-34年
10	本多錦吉郎《羽衣天女》1890年

上記図版を媒体掲載される際には、上記作品名、制作年等を必ず記載してください。

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		FAX	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日			
写真到着日希望			
読者・視聴者プレゼント用招待券(最大10組20名まで本展を媒体でご紹介いただける場合に限ります)	組	名分希望	
メールマガジンをお持ちですか?	はい ・ いいえ		
メーリングリストをお持ちの場合、当館の展覧会・イベント情報等を送信していただく事は可能ですか?	可 ・ 不可		

写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(VTR/DVD)などを、下記宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。

本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。